

# もろこもに

実りの秋 さいかち祭 近づく

テーマは～アオハル～ 10月12日（土）開催

さいかち祭が迫り、実行委員会、生徒会をはじめ、生徒たちは準備に忙しい日々を送っています。

今年度のテーマは、「アオハル」。このテーマに決めた理由は、さいかち祭実行委員長の3年B組川崎結愛さんによると、「青春の1ページに残るさいかち祭にしたいという思いと、地域の皆さんには、青春を思い出して楽しんでいただきたいという思いを込めて、決めました」とのこと。

ポスターは2年生の、西村美海さん、熊谷恵利さんが原画を作成しました。

多くの皆様のご来場をお待ちしております。

公開 9:30～14:00

吹奏楽部コンサート 第1回 11:00

第2回 13:00

お茶会 12:00～14:00 etc.

No. 8

令和元年10月 8日発行

岩手県立山田高等学校

編集 副校長 川崎 広幸



## Hop! Step! Jump! 陸上競技部 西川さん 東北新人大会出場

9月13日（金）～15日（日）に、金ケ崎町で開催された、岩手県高等学校新人陸上競技大会男子三段跳で、2年A組西川直哉さんが13M40を跳び5位入賞。青森県で開催された東北新人大会への出場を果たしました。西川さんは、惜しくも自己記録を伸ばせず13M09の記録で14位でした。来年度のインターハイ出場を目指して、冬季練習に励んでくれるものと期待しています。

〔西川さんの感想〕

高校に入学してから初めての東北大会。結果は14位。ベスト8に残ることも自己ベストを出すこともできませんでした。しかし、2年という立場で大きな舞台を経験し、来年の東北大会の会場で跳べたことが、何よりの成果だと思います。東北新人という舞台に立たせてくれた顧問の先生、指導してくれた先生、部員や家族に感謝したいです。来年もう一度あの場所に立ち、一番高い表彰台に上って、たくさんの人達に恩返ししたいです。



## 震災列車活用スクール

総合的な探究の時間で、1年生は「復興防災学習」取り組みます。その一環として、9月13日（金）に「震災列車活用スクール」を行いました。

これは、宮古駅～鵜住居駅を復活した三陸鉄道に乗車し、車内で乗務員の方から、三陸鉄道の特徴や震災当時のお話、津波対策等について聞かせていただきました。

鵜住居では、いのちをつなぐ未来館を訪問し、震災当時、釜石東中学校3年生だった菊池のどかさんから、小学生の手を引いて逃げた様子などを伺いました。また、震災のことを多くの人に伝えることが、1人でも多くのいのちを救うことになることを学びました。

生徒の感想です。

〔A組 藤原 奈知さん〕

三陸鉄道、震災学習列車にのり、釜石の語り部さんの話を聞き、震災を経験した私たちですが、改めて津波の怖さを感じました。釜石東中学校の震災での行動は有名ですが、くわしくは知らなかったなので、実際、当時中学3年生だった語り部さんの話を聞き、その時の辛い様子を共感でき、自分もその感情を思い出しました。

〔B組 福士 春佳さん〕

震災のときの話しだけでなく、三陸鉄道の今と昔の違いや、三陸鉄道の始まりについても話しをききました。三陸鉄道はなくてはならないものだと思います。

震災学習列車というものは、他にはないと思うので、他県の方にも来てもらって、三陸鉄道の良さや、震災の怖さも知ってほしいと思いました。

〔A組 加藤未沙希さん〕

震災のことを語り継ぐのは、語る人にも勇気が必要だということが、印象に残っています。復興は進んでいますが、震災の爪痕はのこっています。でも、それを全部なくすことが本当に良いとは限らないと思います。どんないたくさん話しを聞くよりも、実物を見た方が分かりやすいと思うからです。だから、いのちをつなぐ未来館のような施設があることは、震災を知らない人に防災意識を芽生えさせたり、避難することがどれほど大切か知ってもらえたりするいい機会になります。

復興防災学習は10月いっぱい継続して行う予定です。

さいかち祭では、途中経過を展示します。また、10月29日には、最終の成果発表会を開催する予定です。

